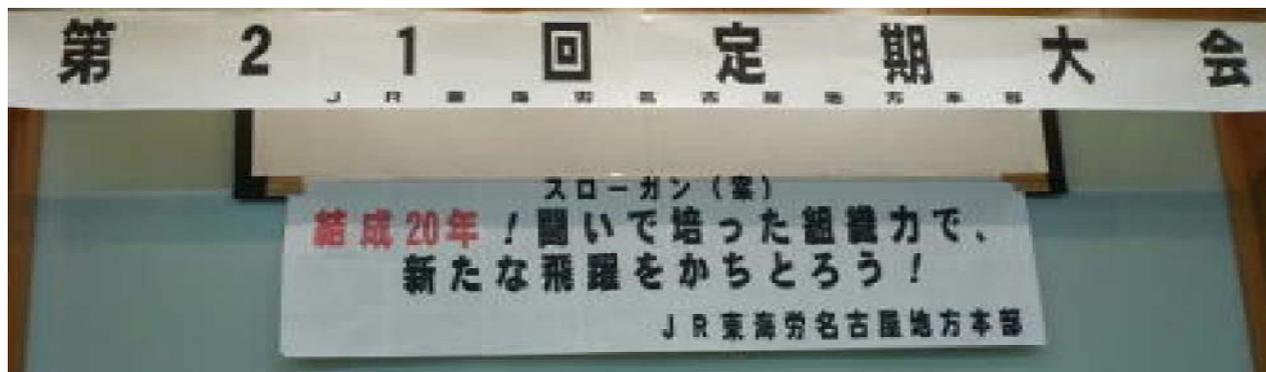


JR東海労なごや

2011年7月13日 No 858
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇



結成20年培った組織力を全体で確認！



山田委員長

7月12日、JR東海労名古屋地本は、名古屋市金山「アビタン」において、第21回定期大会を開催し向こう1年の方針を決定しました。今大会は1991年8月に東海労を結成して20年を迎える記念すべき大会でした。この20年、当たり前前の労働運動をする東海労に対し、葛西会長を中心とした経営陣はなりふり構わず狂気の攻撃をかけてきました。ボーナス・昇級カット、不当転勤、無実の社員をでっち上げ事件で解雇するなど、悪行の限りを尽くしました。そのような攻撃にあっても私たちの組織は揺るぎませんでした。その20年の闘いを確認する大会でした。

冒頭、山田委員長から反原発、新たな段階に入ったリニア中央新幹線建設に反対する闘いなど当面する課題について挨拶が述べられました。



丹羽前委員長

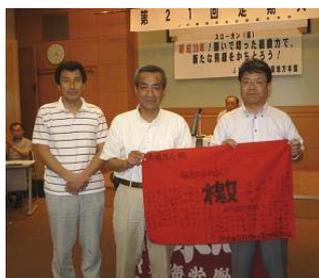


楠初代委員長

歴代委員長の思いが語られる

記念大会ということで、歴代の委員長からそれぞれの闘いの歴史が語られました。職場での闘いの報告として代議員全員の発言があり、執行部の答弁のあと荻野書記長の総括答弁があり、山田委員長の力強い団結ガンバローで終了しました。その後、駆けつけた多くのOBの皆さんと共に懇親会を楽しく行いました。

報復処分撤回裁判の勝利に向けて



斉藤書記長への檄

東京第二運輸所分会斉藤書記長にかけられた「酒気帯びデッチ上げ」処分攻撃に対し、共に連帯する檄を贈りました

